

2017年11月8日

各位

会社名 デンカ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山本 学
 (コード4061:東証第1部)
 問合せ先 CSR・広報室長 清水 宣行
 (電話 03-5290-5511)

**「環境・エネルギー」関連事業強化に伴う
 大牟田工場カーバイド生産停止に関するお知らせ**

当社は、新経営計画『Denka Value-Up』の中で、「環境・エネルギー」を重点分野に位置づけております。その一環として、大牟田工場は電子材料中心の“スペシャリティー”製品の生産拠点に強化して参ります。

これに伴い、青海工場と大牟田工場で100年以上に亘り生産をしてきましたカーバイドについて、この度、大牟田工場のカーバイド生産を2020年12月末までに停止し、青海工場へ集約することにいたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 「環境・エネルギー」関連事業の強化 および カーバイド系事業の再編

上記カーバイドの生産停止・集約に伴い、リチウムイオン二次電池（以下「LiB」）や高圧送電ケーブル向けに事業拡大が見込まれるアセチレンブラックは、「超高純度化」と「生産体制の最適化」を目的に、千葉工場とDSPL（シンガポール子会社）へ生産拠点を集約いたします。

また、石灰窒素につきましても青海工場へ生産拠点の集約を行うことで生産性の向上を図ります。

一方、大牟田工場では、高熱伝導基板、フィラー等の「環境・エネルギー」製品を増強していきます。

2. 事業再編の内容（大牟田工場カーバイド系製品）

製品	再編の内容
カーバイド	2020年12月末までに生産を停止。 青海工場へ生産を集約。
アセチレンブラック	2019年12月末までに生産を停止。 LiB用は千葉工場へ、高圧送電ケーブル用はシンガポールのDSPLへ生産を集約。
石灰窒素	2018年12月末までに生産を停止。 青海工場へ生産を集約。

3. 業績への影響

- 大牟田工場カーバイド系製品製造設備の減損損失を主とする事業整理損10億円程度を特別損失として、2018年3月期に計上する予定です。なお、この特別損失につきましては、本日公表いたしました2018年3月期 通期連結業績予想に織り込み済みです。

以上